

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス大空		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 3月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26家庭	(回答者数) 23家庭
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		～ 令和8年 3月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>清潔で心地よく過ごせる環境作りを行っている。</li> <li>生活する能力を鍛える。</li> <li>利用児童が自ら掃除を行う事が出来るようになり、自信からの自立につながるコンセプトが事業所の強みになっています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掃除や食器洗い等、生活習慣を身につけ身の回りを清潔にすることや自立につながる取り組みが充実している。</li> <li>掃除や洗濯・調理など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなこと・頑張ったことを楽しく行えるような支援を継続していきます。</li> <li>構造化を更に工夫して環境作りを行っていきたい。カーテンで物理的構造化を行い部屋を分けていますが、落ちないようにロールカーテンに変更し安全により配慮した構造化を目指します。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の特性に合わせた活動や、家庭では出来ない体験が出来るような内容になっている。</li> <li>コミュニケーション能力の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方からの利用児童に関する相談や職員間でも報告連絡・相談は密に行い、話しやすい環境を意識している。</li> <li>挨拶やお礼など活動の中でルールを守ること。</li> <li>自立に向け、自主的に家事スキルが身に付くような工夫を行っている。掃除検定や模擬アルバイトなど。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話しやすい・伝えやすい・信頼関係を大切にした環境を心がけ、対応をより丁寧に行っていきます。</li> <li>情報共有の継続。</li> <li>多様な活動を取り入れ、色々なルールに触れる機会をつくる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に合わせた支援行事を行っている。</li> <li>活動プログラムが固定化されないように工夫している。</li> <li>安心できる場所。</li> <li>生活年齢に合わせた支援を行い、衛生面ではシャワー浴を行い使用したタオルは洗濯機を使用して使い方を学び終わると干す活動を取り入れ、自宅でもできる支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節を感じ出来る制作活動(ひなまつり・ハロウィンクリスマス会・節分等)等季節に合わせた行事を行う。</li> <li>自宅のような安心感。</li> <li>スタッフは毎週支援の質の向上の時間を作り、参考書や教材使用して自ら学習に取り組む事を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内だけでなく更により外出事を通して屋外で楽しめる取り組みを増やして行きます。</li> <li>疲れれている時の部屋があっても良いかも。</li> <li>将来について困らないような支援を引き続き行い、自然に身に付いてもらえるような支援を考えていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との交流。</li> <li>他の交流や他地域での子供と活動する機会がない。</li> <li>保護者参観の機会。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とつながるためにどうした良いか。近所の付き合いはあるが。</li> <li>児童クラブや児童館との交流、地域の子どもの交流する機会がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度に向けて他事業所との交流を検討中。特性を理解しないと失敗に終わる可能性があるため打ち合わせを定期的に行っていきたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者同士のつながり。</li> <li>職員におけるスキルや情報の差があること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方がつながりを求めている方が少ない。</li> <li>研修機会の不足。現場での技術の伝達が十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方への見学会があっても良いのかも・・・</li> <li>少しずつでも必要な研修を受講し、実践に結び付けていく。また、知識や経験のある職員から伝達を直接的な支援を現場で行う。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動するスペース。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の成長に伴い、身体の大きい利用者が思いっきり動ける広さが無い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館や屋外外出をプログラムに計画し、運動できる活動を取り入れていきます。</li> </ul>